

## 第 59 回電子情報化委員会 議事録

日時：2014 年 5 月 19 日（月）14:00～17:00

場所：JCI 12F 会議室

出席者：甲斐委員長，八十島幹事，浅本，田所，中村，西岡，藤本の各委員  
（オブザーバー）田村，（事務局）河井，井上，戸口

資料

59-0：電子情報化委員会（第 59 回）議事次第

59-1：第 58 回電子情報化委員会議事録（案）

59-2：会員専用ページの利用者数

59-3-1：JCI 創立 50 周年記念事業実行委員会出版物刊行部会記念紙 WG 第 1 回議事録

59-3-2：50 周年写真集 WG 第二回議事録案

59-3-3：「40 周年あゆみ」の更新方針と担当

59-4-1：「IT 委員会（仮）」委員推薦のお願い

59-4-2：電子情報化委員会名簿

59-5：施工において発生した不具合等の対処に関するガイドラインのホームページデザイン案

59-6：SNS サービスを利用した情報発信について

59-7：JCI 年次論文集 DVD 版の打合せメモ（案）

議事

1. 前回委員会議事録（案）の確認（八十島幹事，資料 59-1）  
第 58 回議事録（案）が了承された。
2. 登録者・利用者数について（事務局，八十島幹事，資料 59-2）
  - ・ 現状のメールニュース登録者数 9901 名（会員 4666 名，非会員 5235 名）で，前回委員会時から 50 名程度の増加である。
  - ・ 会員専用ページ利用者数は 3170 名で，累計利用率は微増である。
3. 創立 50 周年記念事業について（資料 59-3-1～3）  
田村オブザーバーより資料 59-3-1～3 に基づき 50 周年記念事業について説明がなされた。
  - ・ 記念事業実行委員会と協働することが了承された。
  - ・ 日程が合えば，電子情報化委員会と記念事業実行委員会の主査幹事会と合同開催を行う。  
→ 7 月 14 日の主査幹事会には，甲斐委員長がオブザーバーとして参加する予定。
  - ・ 50 周年記念事業のコンテンツを継続的に更新するために，記念事業実行委員会の各 WG から IT 委員会へのオブザーバー参加を要望した。
  - ・ コンテンツの作成方針や詳細内容は，今後，記念事業実行委員会とともに議論する。
4. IT 委員会（仮）の活動計画（甲斐委員長，資料 59-4-1）  
甲斐委員長より，資料 59-4-1 に基づき委員構成案と推薦願いについて説明がなされた。

- ・ IT 委員会（仮）の構成員は 24 名で、活動計画としては 2 ヶ月に 1 回のペースでホームページを更新するイメージである。
  - ・ HP 更新の担当は、幹事（研究委員会 HP 担当）と委員の 2 名とし、幹事は会員専用ページの責任者、委員は一般向けページの責任者とする予定である。作業の引き継ぎや効率性を考えると、副担当（次の担当）が 2 名ほどいたほうがよい。
  - ・ 全体委員会の開催は半年に 1 回程度とし、委員長、副委員長、担当者、副担当者による会議は 2 ヶ月に 1 回くらい開催する予定である。各コンテンツ WG の会議は適宜開催し、ルーチン化されて軌道に乗れば、WG の会議はメール審議などもありうる。
  - ・ 更新ページの原稿作成について、文章はワードファイルで写真や図は画像ファイルで提供してもらおうなど、ある程度決まったフォーマットや仕組みが必要である。
  - ・ 原稿内容の確認方法、公開前の HTML ページの確認手順などもある程度決める必要がある。
  - ・ 更新頻度を考慮するとコンテンツは、2~4 個が必要である。また、それに対応したページデザイン（テンプレート）も必要になる。
  - ・ 次回委員会までにコンテンツ案、ページ更新までの仕組みを提案する。【担当：各委員】
5. 専門家向けページの進捗状況（浅本委員、資料 59-5）  
浅本委員より資料 59-5 に基づいて専門家向けページの進捗状況について説明がなされた。
- ・ 非会員向けの「施工において発生した不具合等の対処に関するガイドライン」のページは、ホームページデザイン案【A】で作成することが了承された。
  - ・ バナーデザインは、a タイプを基本とし、現在の JCI ホームページトップの右側バナーデザインに合わせるようにする。バナーを設置する場所は、コンクリートの基礎知識の下とする。
  - ・ 会員向けのページについては、資料 59-5 のデザイン案【B】を利用し、「不具合補修 WG 報告書」の目次、見出し、会員のメリットになりうる部分的な章・節（pdf 形式）などを載せた、デモ版の概略を作成する。【担当：浅本委員】
  - ・ 会員専用向けページで部分的に公開可能な報告書が作成されたとき、報告書から Web ページに変換して公開しやすくできるように、雛形やマニュアルがあったほうがよい。
  - ・ 若手会のシンポジウムにおける資料を会員専用ページで公開することを要望する。【担当：高橋委員】
6. SNS サービスを利用した情報発信について（中村委員、資料 59-6）  
中村委員より資料 59-6 に基づいて説明がなされた。
- ・ JCI が Facebook や Twitter を利用した情報発信を行った場合、土木学会の発信する情報と重複する可能性があり、メールニュースとのすみ分けが難しい。また、担当が必要になり、多大な労力がかかる可能性がある。
  - ・ 会議資料のデータ化（ペーパーレス化）について、レンタルサーバやクラウドサービスなどを調査し、コストパフォーマンスや効率性について検討する。【担当：中村委員】
7. 年次大会関連  
八十島幹事より資料 59-7 に基づいて説明がなされた。

- ・ 年次大会ホームページの容量について、アトラスに確認する。【担当：事務局】
- ・ 次回の委員会において、アトラスから査読システムの利用報告を行ってもらう予定である。

8. 次回日程

- ・ 2014年7月中旬に実施予定。詳細日程はメールにて調整する。

以上